

保護者の皆様

松阪市立豊田小学校
校長 豊田多希子

地震・津波（東海・東南海・南海地震対策）の際の避難について

日頃は、本校の教育活動にご支援ご協力をいただきまして、ありがとうございます。

さて、東海・東南海・南海地震が起こるといわれつづけ、毎年、本校では避難訓練を実施してきております。本校では、以下のように、地震・津波の際の避難について、想定をしておりますので、ご家庭でのご確認のほど、よろしくお願いいたします。

記

1. 児童が学校にいる場合

- (1) 第1次避難場所（小規模の地震・津波）…豊田小学校
- (2) 第2次避難場所（巨大地震・大津波）……嬉野グラウンド

2. 登下校中に震度5強以上の地震が発生した場合

- ① 通学団で決めた地点より学校に近い場所にいる場合 ⇒ 豊田小学校へ避難
- ② 通学団で決めた地点より自宅近くにいる場合 ⇒ 自宅に帰って家族と避難
- 状況次第では、①②ともに、嬉野グラウンドへ避難する場合もあり得る
- 一昨年度、「通学団で決めた地点」を設定しました。「学校と各集合場所の中間地点」としています。（下記の表参照）

通学団名	学校と各集合場所の中間地点
沢団地	須賀信号交差点
権現前	ふみきり手前の電波塔（NTT）
須賀	豊田公民館
川北	松田さん宅の角
新屋庄	陽光園付近の信号交差点
小村	中勢バイパスの手前（学校寄り）
川原木造	陽光園付近の信号交差点（横断前：家 横断後：学校）
嬉野	ひまわり畑

3. 下校後に震度5強以上の地震が発生した場合

- ・ 豊田小学校へ避難する
- ・ 第2次避難は、家族と相談した避難場所に移る（各ご家庭での決めごとに沿う）
- 有事の際（特に登下校中、災害が起こった場合）には、子どもたちが自分で考えて行動しなければならないことがあります。上記の決めごとは、あくまでも判断の目安となるものです。命を守るためには、決められたこととはちがう行動をとらざるを得ない場合もあります。ご家庭でも折にふれて、防災についての話をする機会をもってくださいますよう、よろしくお願いいたします。
- 6月の児童引き渡し訓練の後、お子様と下校していただく際に、中間地点の確認を、よろしくお願いいたします。